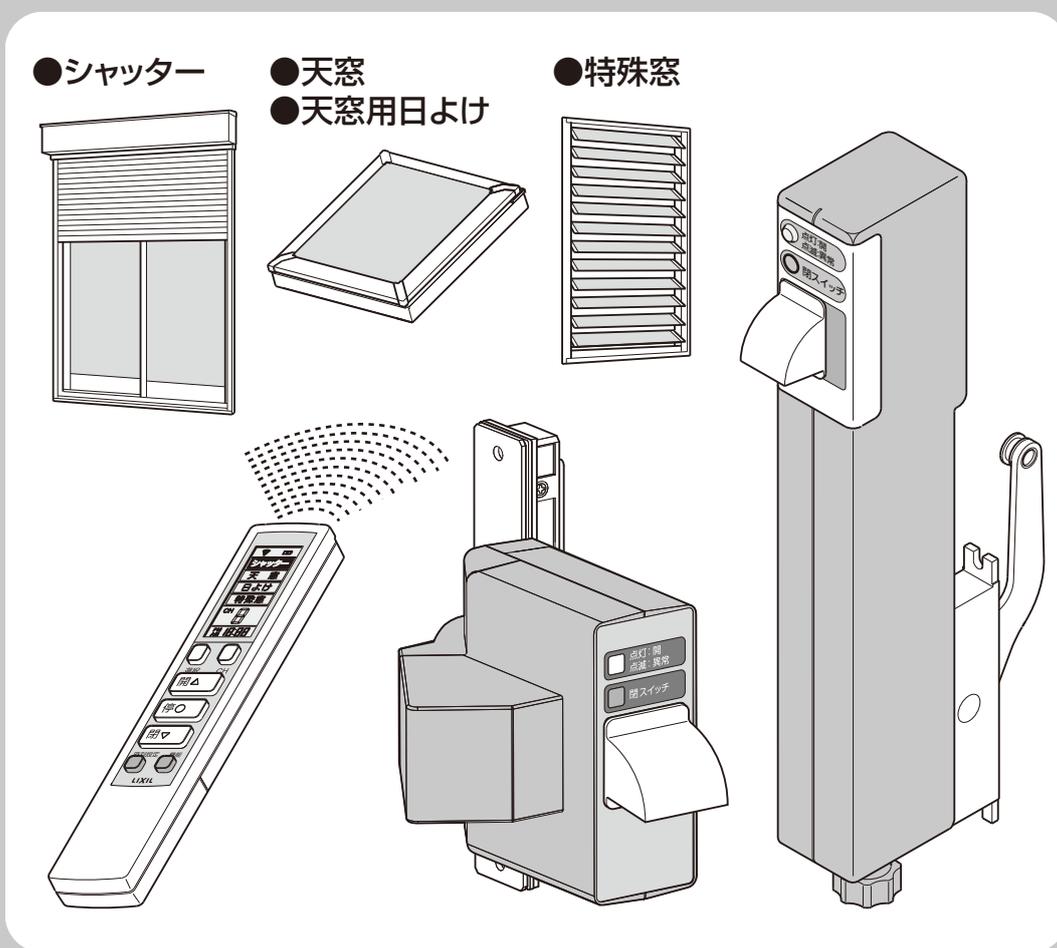


共通・単機能リモコン (シャッター・天窓・天窓用日よけ・特殊窓) 電動ユニット

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■警告用語の種類と意味	1
■重要なお知らせ	1
■電池について注意していただきたいこと	2
・危険	2
・警告	2
・注意	2
■特に注意していただきたいこと	3
・警告	3
・注意	3
・お願い	3
■はじめに	4
1.リモコンについて	4
2.リモコンで操作できる品種	4
■各部の名称と役割	5・6
1.リモコン	5
2.電動ユニット	6
■リモコンの登録のしかた	7～10
1.リモコンの登録（天窓・電動ユニット）	7
2.リモコンの登録（シャッター）	8
3.リモコンの登録消去（天窓・電動ユニット）	9
4.品種表示について（共通リモコンのみ）	10
■リモコンの操作のしかた	11・12
■時刻設定のしかた	13
■本体側（電動ユニット）の異常表示	14
■停電時の操作方法	14
■こんな時どうするの？	15
■点検とお手入れ方法	15
■リモコン設置明細	16
■アフターメンテナンスについて	17
■商品保証について	18

警告用語の種類と意味

この章では、「共通・単機能リモコン、電動ユニット」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

- この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の4段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意味
 危険	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

重要なお知らせ

ご使用の前に

- 安全のために、必ずお守りください。

「共通・単機能リモコン、電動ユニット」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

なお、この取扱い説明書にしたがわず乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「共通・単機能リモコン、電動ユニット」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	 0120-413-433

電池について注意していただきたいこと

電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災、周囲を汚損する原因になりますので、下記項目をお守りください。

⚠ 危険

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。失明など障害のおそれがあります。

⚠ 警告

- 電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。
- 電池は乳幼児の手の届く所に置かないでください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池を火の中に入れてたり、加熱、分解しないでください。
- 電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。
- 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。
- 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。

⚠ 注意

- 電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや周囲を汚損する原因になりますので、下記事項をお守りください。
- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
- 電池を水などで濡らさないでください。
- 電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて使用、保管してください。

特に注意していただきたいこと

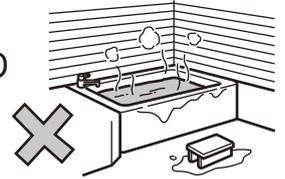
※安全のため必ずお守りください。

警告

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



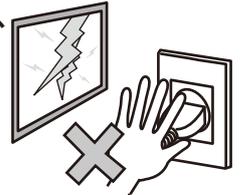
- 風呂・シャワー室などの湿気の高い場所で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 電源プラグの部分にホコリがたまらないようにしてください。火災の原因となります。



- 雷が発生しているときは、電源プラグに触らないでください。感電の原因となります。



注意

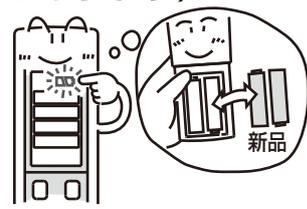
- 開閉位置に人・物のないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。
- 機器を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。
- AC100V専用です。100V以外には、接続しないでください。火災・感電のおそれがあります。

お願い

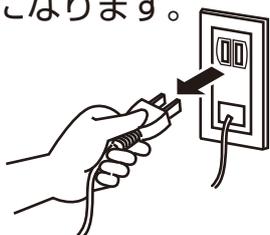
- リモコンは、ぬれた手で操作しないでください。又、リモコンは直射日光の当たる場所や高温・高湿の場所に置かないでください。



- 電池消耗表示が出たら、すみやかに新品の乾電池と交換してください。(同梱されている乾電池は、短期間で消耗することがあります)



- 雷予報が出たときは、雷が発生する前に電源プラグをコンセントから抜いてください。コンセントから電源プラグを抜かないと雷の影響により故障の原因となります。



- 電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。
- 電池は、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。
- 機器内部には精密な部品があります。故障の原因となりますので、本体を開けないでください。

機器の取扱いについて

- 特殊窓(ガラスルーバー・ダブルガラスルーバー・オーニング・高所縦すべり・高所横すべり)以外の品種は、シャッター・天窓・日よけの取扱い説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。

はじめに

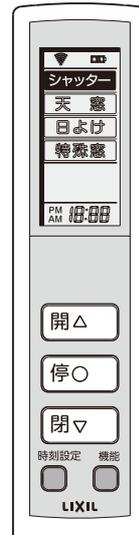
1

リモコンについて

●共通リモコン



●単機能リモコン



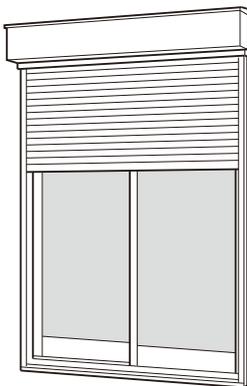
特 徴	共通リモコン	単機能リモコン
●1つのリモコンで、シャッター・天窓・天窓用日よけ・特殊窓（ガラスルーバー・ダブルガラスルーバー・オーニング・高所縦すべり・高所横すべり）の開閉が可能です。	○	×
●品種ごとに「0～9」チャンネルを選択することができます。	○	×
●ID機能を有しており、登録されたリモコン以外からは操作することができません。	○	○

※日よけは、チャンネルおよびID登録をしなくても動かすことができます。

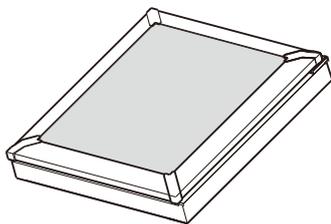
2

リモコンで操作できる品種

●シャッター

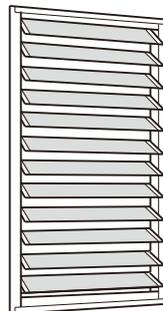


●天窓 ●天窓用日よけ

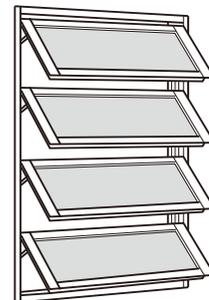


●特殊窓

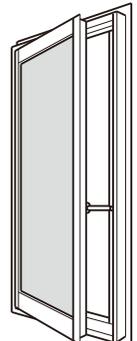
- ・ガラスルーバー
- ・ダブルガラスルーバー



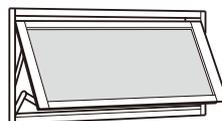
・オーニング



・高所縦すべり



・高所横すべり



※特殊窓には、壁スイッチの設定はなく、リモコンによる操作のみになります。

※天窓は、リモコン・壁スイッチのいずれかを選択、又はリモコン・壁スイッチの両方で操作可能、シャッターはリモコン・壁スイッチのセットで操作可能となります。

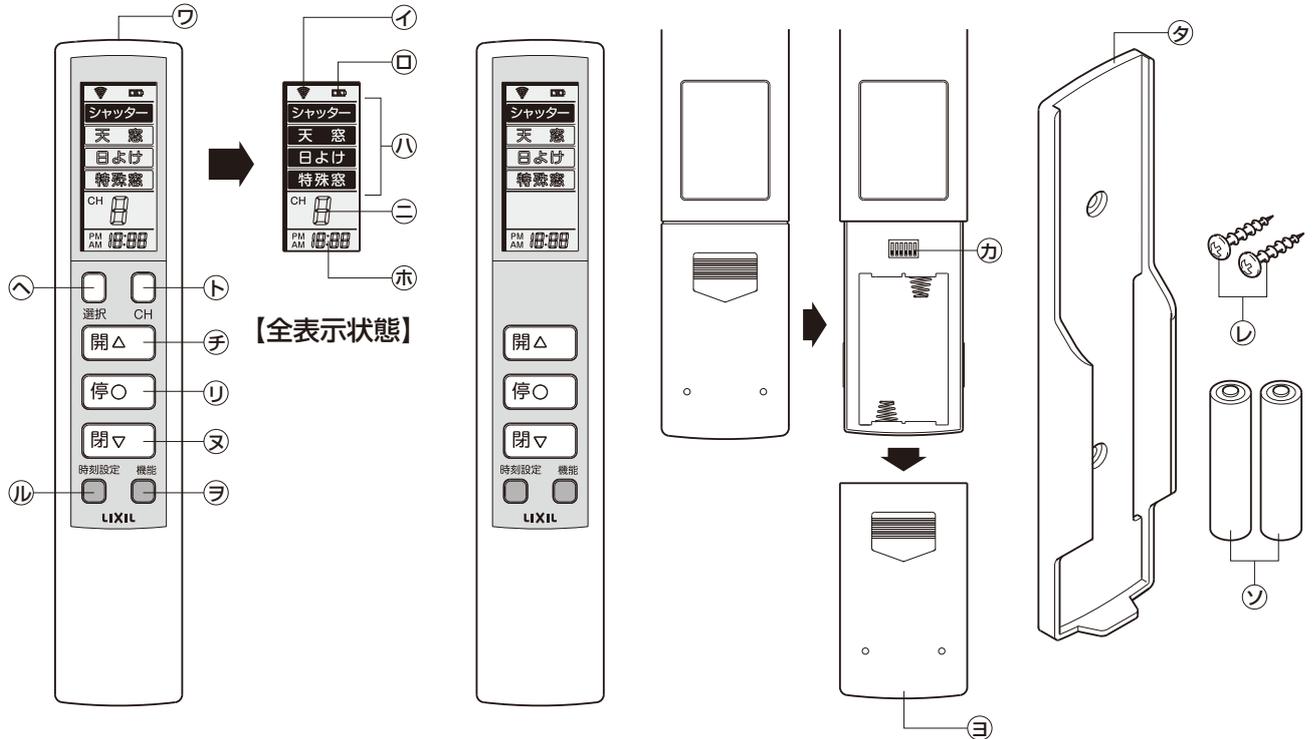
各部の名称と役割

1

リモコン

●共通リモコン

●単機能リモコン ●裏面



番号	名称	役割	共通リモコン	単機能リモコン
①	赤外線信号発信表示	(開・閉・停・機能のいずれかのボタンに該当する) 信号を発信している状態を表します。	○	○
Ⓚ	電池残量警告	電池容量の低下を表します。	○	○
⑧	品種表示	選択された品種を表します。	○	○
※1 ②	チャンネル表示	「0～9」チャンネルを表します。「0」チャンネルにした場合は、登録した全ての設定CHを操作できます。	○	—
Ⓢ	時刻表示	時刻を表します。	○	○
※1 ④	品種選択ボタン	品種を選択することができます。	○	—
※1 ⑤	チャンネル選択ボタン	チャンネルを選択することができます。	○	—
⑥	開ボタン	開けます。	○	○
⑦	停ボタン	停めます。	○	○
⑧	閉ボタン	閉めます。	○	○
⑨	時刻設定ボタン	時刻を設定する状態になります。	○	○
※2 ⑩	機能ボタン	シャッターが半開動作します。	○	○
⑪	発光部	赤外線信号を発信します。	○	○
※1 ⑫	ディップスイッチ	品種表示などを任意に変更することができます。	○	—
⑬	電池カバー	電池を保持します。	○	○
※3 ⑭	リモコンホルダー	リモコンを壁などに固定することができます。	○	○
※3 ⑮	リモコンホルダー取付けねじ	リモコンホルダーを取付けます。	○	○
※3 ⑯	単4乾電池	リモコンの電源を供給します。	○	○

※1) 単機能リモコンにはありません。又、品種表示は、いずれかに固定されます。

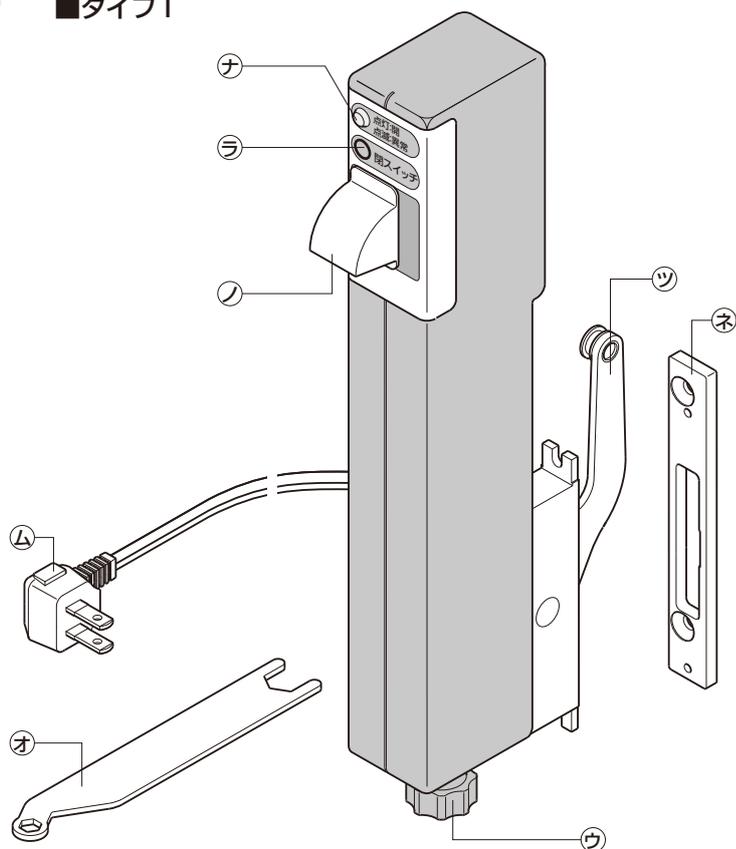
※2) 機能ボタンは、シャッターのみで使用しシャッター選択時に半開動作をします。

※3) リモコンの付属品となります。

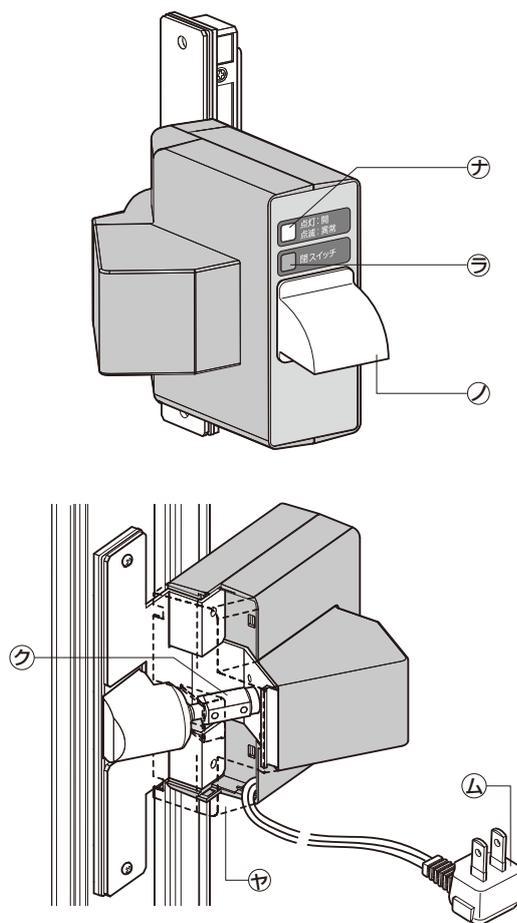
2

電動ユニット

■タイプ1



■タイプ2



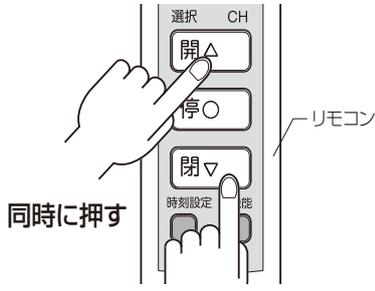
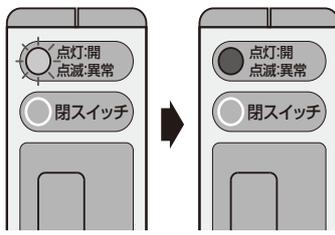
番号	名称	役割	タイプ1	タイプ2
㊮	アーム	品種ごとに設定があり、障子開閉機構部に取り付けます。	○	—
㊯	スペーサー	品種ごとに設定があります。	○	—
㊦	表示ランプ (LED)	窓が開いている場合、赤点灯します。(異常時には点滅します。) ※ただし、挟み込みなど、途中で停止した場合には、赤点灯しませんので注意してください。	○	○
㊧	閉スイッチ	スイッチを押続けることで窓が閉まります。	○	○
㊨	電源コンセント	電源 (AC100V) を取入れます。	○	○
㊩	手動操作ノブ	停電時など、手動開閉時に使用します。	○	—
㊪	ひさし (受光部)	高所などに取付けた場合、赤外線信号を受けやすくします。	○	○
㊫	付属工具	手動操作ノブまたは、回転軸を手動で操作することができます。	○	○
㊬	回転軸	モーターの動力を伝達します。停電時には、この部分を付属工具で回すと、障子を閉じることができます。	—	○
㊭	カバー	回転軸をカバーします。	—	○

リモコンの登録のしかた

1

リモコンの登録(天窓・電動ユニット)

- 各種の窓を操作するリモコン (ID) を登録します。
- 日よけは登録しなくても動かすことができます。

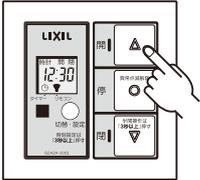
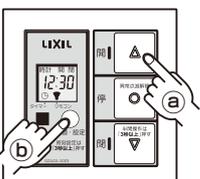
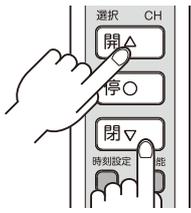
手順	表示状態	備考	共通リモコン	単機能リモコン
①過電流遮断器(ブレーカ)又は、電源プラグを入れ直します。 (天窓の場合は、電源が完全に切れるまでの約10秒間待ってから電源を入れてください。) 本体表示ランプ(赤)がゆっくり「点滅」します。(1秒ON→1秒OFF)	例)電動ユニット(特殊窓) 		○	○
②停ボタンを2回押した後、設定したい品種およびチャンネルを選択してください。 ※チャンネル選択は、共通リモコンのみです。 ※P.11①②「リモコン操作のしかた」を参照してください。このとき品種表示とチャンネル番号が「点滅」します。	例) ※下図は、共通リモコンを表しています。 	●登録状態を解除する場合は、停ボタンを押してください。「点滅」している品種・チャンネルが「点灯」します。 ●「0」チャンネルは、登録する必要はありません。	○	—
③本体に向けて、開・閉ボタンを3秒以上(品種表示およびチャンネル番号の「点滅」が「点灯」になるまで)、同時に押してください。 ※チャンネル番号は、共通リモコンのみです。		●登録状態を解除する場合は、停ボタンを押してください。「点滅」している品種が「点灯」します。	○	○
④本体の表示ランプ(赤)が「点滅」から「点灯」になれば、登録完了です。		●5秒間「点灯」後、「消灯」します。	○	○
⑤同じリモコンで他に登録したい商品がある場合は、②～④の手順を繰り返してください。 ※ただし約2分を過ぎて、本体の表示ランプ(赤)が「点滅」から「点灯」になった場合は、もう一度、①から登録操作をやり直してください。			○	—

※登録済みのリモコンを再度、登録したい場合、リモコンを紛失して新規にリモコンを登録する場合は、登録操作①～⑤を行ってください。

2

リモコンの登録(シャッター)

●シャッターを操作するリモコン (ID)を登録します。

手 順	表示状態	備 考	共通リモコン	単機能リモコン
①壁スイッチの開スイッチを押して、シャッターを全開にしてください。 			○	○
②壁スイッチの開スイッチ①を押しながら切替スイッチ②を押します。 		●壁スイッチ液晶画面の「1」表示が点滅します。	○	○
③壁スイッチの開スイッチ又は閉スイッチを押して、液晶画面を「0-0」表示点滅にしてください。 ※すでに設定済みの場合、「0-1」などの表示になっている場合がありますが、そのまま手順④に進んでください。 例) 			○	○
④《共通リモコンの場合》 リモコンの停ボタンを2回押し、品種選択ボタンを押して品種設定、チャンネル設定ボタンを押してチャンネル設定をしてください。 ※「リモコン操作のしかた」(P.11①②)を参照してください。 	「1」チャンネルを設定した場合 	●リモコン液晶画面の品種表示、チャンネル表示が点滅します。	○	—
④《単機能リモコンの場合》 リモコンの停ボタンを2回押ししてください。 		●リモコン液晶画面の品種表示が点滅します。	—	○
⑤壁スイッチに向けて、リモコンの開ボタン、閉ボタンを同時に3秒以上押ししてください。壁スイッチが信号を受けるとブザー音が鳴り、リモコンで設定したチャンネルを表示します。  同時に押す	「1」チャンネルを設定した場合  	●リモコン液晶画面の品種表示の点滅が点灯に変わります。 ●リモコン液晶画面の品種表示、チャンネル表示の点滅が点灯に変わります。 ●壁スイッチ液晶画面が「0-1」となり点滅します。	—	○
⑥壁スイッチの切替スイッチを押して登録完了です。 		●壁スイッチ液晶画面が時刻表示になります。	○	○

手 順	表示状態	備 考	共通リモコン	単機能リモコン
⑦切替スイッチを押してリモコン操作可能表示を点灯させてください。			○	○

※リモコンを紛失して新規に登録する場合は、①～⑦の手順を行ってください。

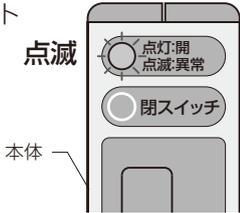
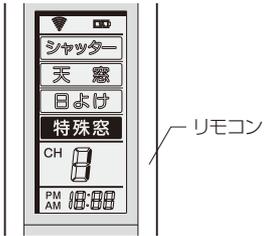
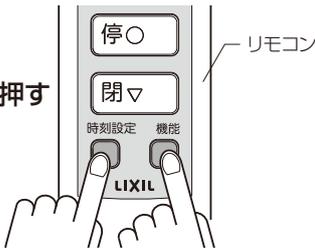
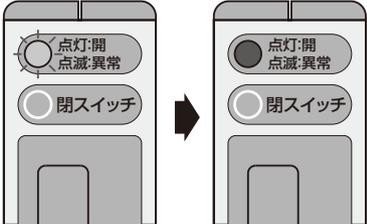
※壁スイッチ側では、リモコンの登録を消去することはできません。

※共通リモコン、単機能リモコンの登録を行った場合、赤外線リモコンは使用できません。

3

リモコンの登録消去(天窓・電動ユニット)

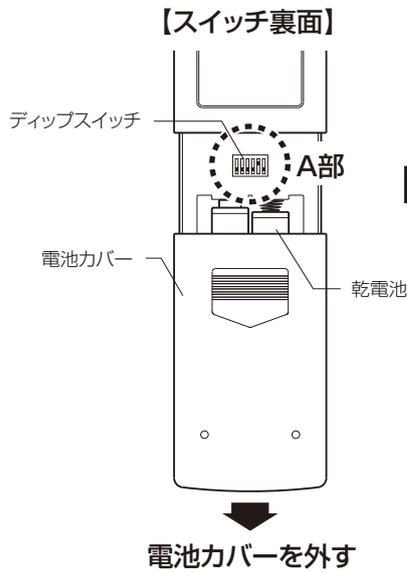
- すでに登録されているリモコンの登録を消去します。

手 順	表示状態	備 考	共通リモコン	単機能リモコン
①過電流遮断機(ブレーカ)又は、電源プラグを入れ直します。(天窓の場合は、電源が完全に切れるまでの約10秒間待ってから電源を入れてください。) 本体表示ランプ(赤)がゆっくり「点滅」します。(1秒ON→1秒OFF)	例)電動ユニット(特殊窓) 点滅 	●2分間、本体側は登録モードに入ります。	○	○
②停ボタンを2回押した後、消去したい品種およびチャンネルを選択してください。 ※チャンネル選択は、共通リモコンのみです。 ※P.11①②「リモコン操作のしかた」を参照してください。このとき品種表示とチャンネル番号が「点滅」します。	例) ※下図は、共通リモコンを表しています。 	●登録消去状態を解除する場合は、停ボタンを押してください。「点滅」している品種・チャンネルが「点灯」します。 ●「0」チャンネルは、登録消去する必要はありません。	○	—
③本体に向けて時刻設定ボタン、機能ボタンを3秒以上(品種表示およびチャンネル番号の「点滅」が「点灯」になるまで)、同時に押してください。 ※チャンネル番号は、共通リモコンのみです。	同時に押す 	●登録消去状態を解除する場合は、停ボタンを押してください。「点滅」している品種が「点灯」します。	○	○
④本体表示ランプが「点滅」から「点灯」になって登録消去が完了しました。	点滅 → 点灯 	●5秒間「点灯」後、「消灯」します。 ※窓が開いている場合は再び「点灯」します。	○	○
⑤同じリモコンで他に消去したい品種がある場合は、②～④の手順を繰り返してください。 ※ただし約2分を過ぎて、本体の表示ランプ(赤)が「点滅」から「点灯」になった場合は、もう一度、①から登録操作をやり直してください。			○	—

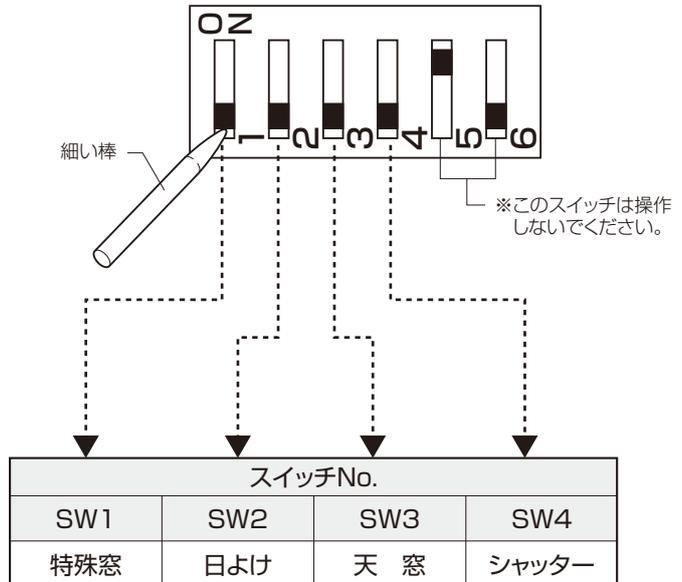
4

品種表示について(共通リモコンのみ)

- 共通リモコンは、シャッター・天窓・天窓用日よけ・特殊窓（ガラスルーバー・ダブルガラスルーバー・オーニング・高所縦すべり・高所横すべり）の5品種に対応しています。
- 使用しない品種がある場合は、電池カバーを開けて、ディップスイッチを操作することで表示を変更することができます。
- ディップスイッチは、細い棒で操作してください。

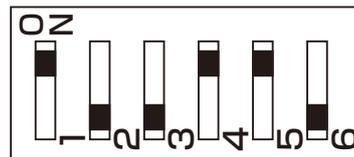


■A部詳細図(ディップスイッチの設定)



※表示を消したい場合は上記品種に対応したスイッチを“ON”にしてください。

例) 特殊窓とシャッターを使用しない場合、SW1（特殊窓）SW4（シャッター）を“ON”にしてください。



リモコンの操作のしかた

⚠ 注意

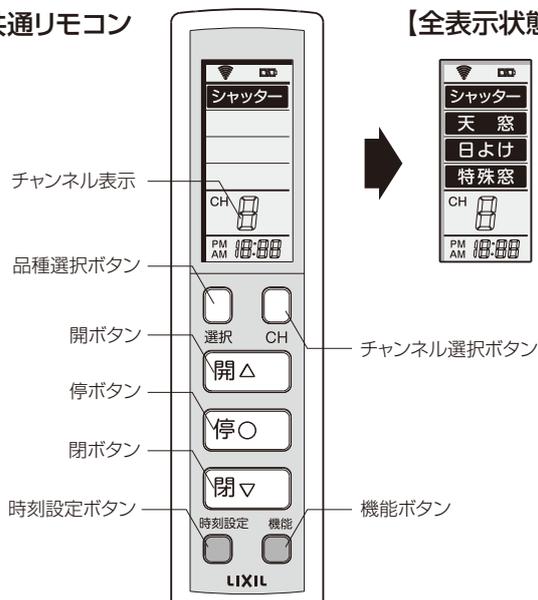
- 開閉位置に人・物のないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。

お願い

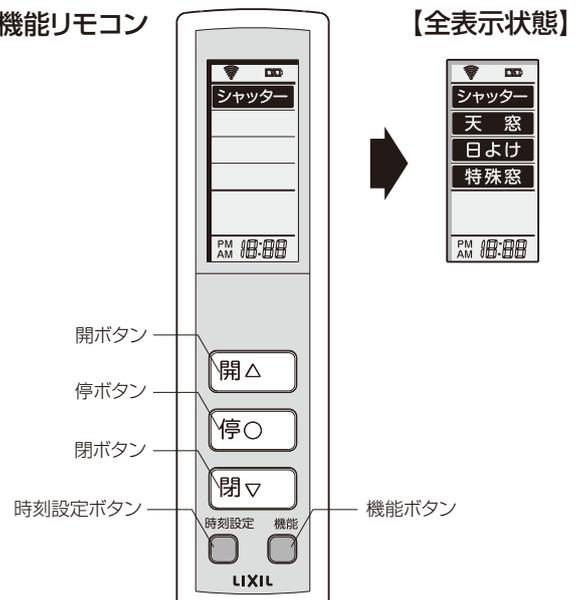
- シャッター・壁スイッチ（アダプタ）・電動ユニットの前に障害物を置かないでください。リモコン操作ができなくなるおそれがあります。
- 天窓本体操作時は、日よけを開けてから操作してください。
- お子さまにリモコンを操作させないでください。誤って人・物が挟まれるおそれがあります。
- 停電時以外は手動操作を行わないでください。停電時以外の手動操作は故障の原因となります。
- 窓を連続的に開閉すると開閉操作ができなくなることがあります。この場合はしばらく時間をあけてから操作を行ってください。

操作手順

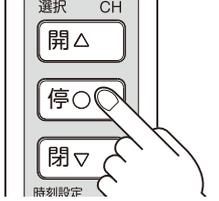
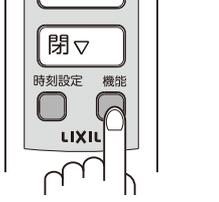
●共通リモコン



●単機能リモコン



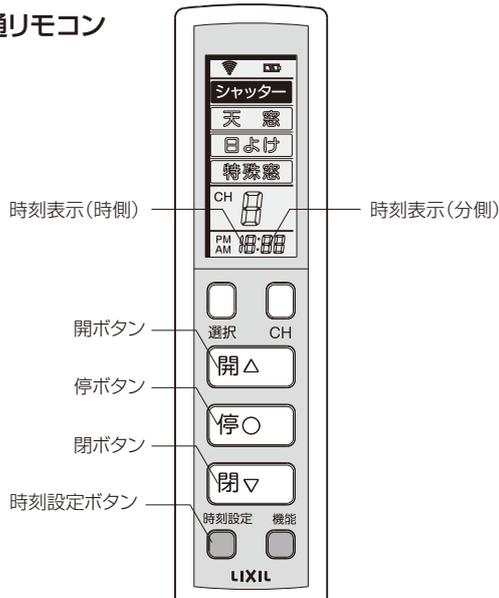
手順	表示状態	備考	共通リモコン	単機能リモコン
①品種を選択してください。		<ul style="list-style-type: none"> ●選択ボタンを押すことで、以下の順序で品種を選択できます。 全選択(全ての品種) → シャッター → 天窓 → 日よけ → 特殊窓 ●シャッターの場合は、タイマー付壁スイッチ（アダプタ）の切替スイッチを押してリモコン操作を「ON」にします。 ●壁スイッチの液晶表示部に「」の表示が出れば、リモコン操作は、「ON」になっています。 ※単機能リモコンの場合、本操作はありません。 	○	—
②CH（チャンネル）を選択してください。		<ul style="list-style-type: none"> ●CHボタンを押すことで、登録したチャンネルが順次表示されます。 【「9」チャンネル登録した場合】 0(全てのチャンネル) → 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8 → 9 ●「0」チャンネルにした場合は、登録した全てのチャンネルで操作できます。 ※選択している品種が日よけの場合と、単機能リモコンの場合、本操作はありません。 	○	—

手 順	表示状態	備 考	共通リモコン	単機能リモコン
③開ける場合 ・開ボタンを押してください。		●天窓の場合、雨センサーが作動しているときに強制的に開ける場合は、開ボタンを押し続けてください。押し続けている間だけ障子が動きます。(ただし、雨が降っても自動では閉まりません。)	○	○
④閉める場合 ・閉ボタンを押してください。			○	○
⑤途中で止める場合 ・停ボタンを押してください。		●続けて2回押すと、リモコン登録状態（品種とCHが点滅した状態）となり、開・閉ボタンを押しても操作できなくなります。もう一度、停ボタンを押して登録状態を解除してください。 ※CHの点滅は、共通リモコンのみです。	○	○
⑥半開操作（シャッターのみ） ・機能ボタンを押してください。			○	○
⑦複数の窓を開閉する場合		●「0」チャンネルを選択した場合は、設定した全ての窓を同時に操作することができます。 ●連窓で取付けられている、又は複数の壁スイッチ（シャッターのみ）が離れているときは、同時に操作することができません。 ※全選択していても、日よけの操作は同時にできません。	○	—
⑧リモコン操作可能範囲		●信号の到達距離は、受光部正面から直線で約9mです。受光部の正面からずれるほど受光可能な範囲は短くなります。 ※特殊窓のうち、高所に取付ける場合は、付属のひさしを電動ユニット受光部に取付けてください。詳しくは本体取付け説明書をご参照ください。	○	○

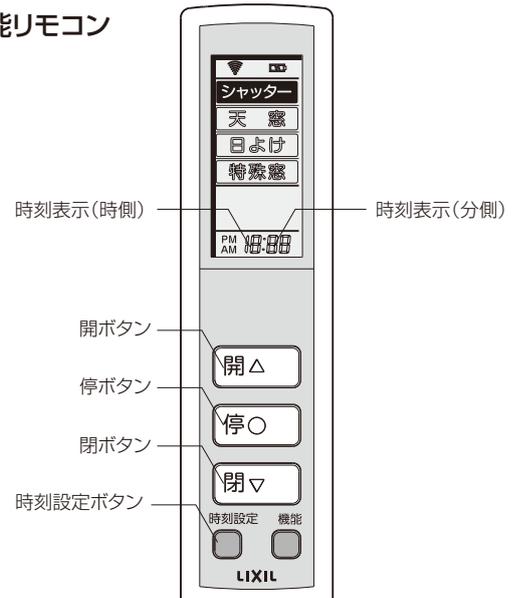
時刻設定のしかた

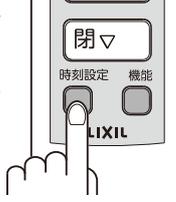
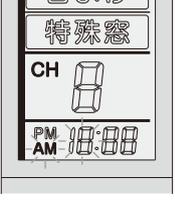
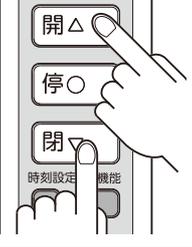
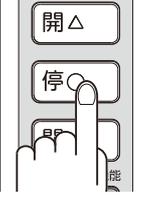
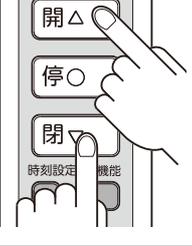
設定手順

●共通リモコン



●単機能リモコン



手順	表示状態	備考	共通リモコン	単機能リモコン
①時刻設定ボタンを3秒以上押します。 ・時刻表示の時側が「点滅」します。 		●時刻設定中、約1分間なにも操作しないと元にもどります。	○	○
②時刻(時側)を開ボタン・閉ボタンを押して合わせます。 1.開ボタンを押すと進みます。 2.閉ボタンを押すと戻ります。 			○	○
③希望時になったら停ボタンを押します。 ・時刻表示の分側が「点滅」します。 			○	○
④時刻(分側)を開ボタン・閉ボタンを押して合わせます。 1.開ボタンを押すと進みます。 2.閉ボタンを押すと戻ります。 			○	○
⑤希望時刻になったら、時刻設定ボタンを押します。 ※「点滅」している個所がなければ、設定完了です。			○	○

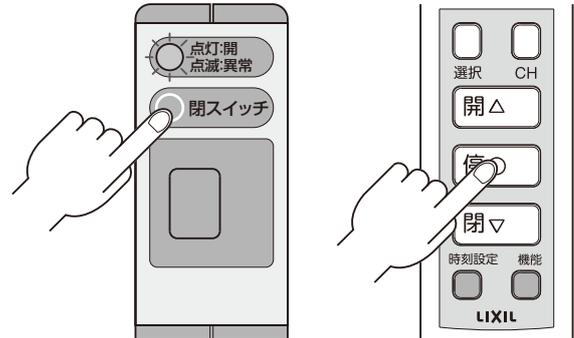
本体側(電動ユニット)の異常表示

※特殊窓以外の品種は、シャッター・天窓・日よけの取扱い説明書をご覧ください。

赤の点滅

- 何らかの原因でモーターが長時間(90秒以上)動作したとき。
- 表示ランプ(赤)の「点滅」の解除のしかた
・リモコンの停ボタン又は本体の閉ボタンを押してください。「点滅」を解除します。
- 繰り返し表示ランプ(赤)が「点滅」する場合は、お買い求めの工務店・販売店又は当社お客さま相談センターまでご連絡ください。
- 停電復帰後、表示ランプ(赤)がゆっくり「点滅」していますが異常ではありません。

●開ランプ(赤)の点滅



停電時の操作方法

操作方法

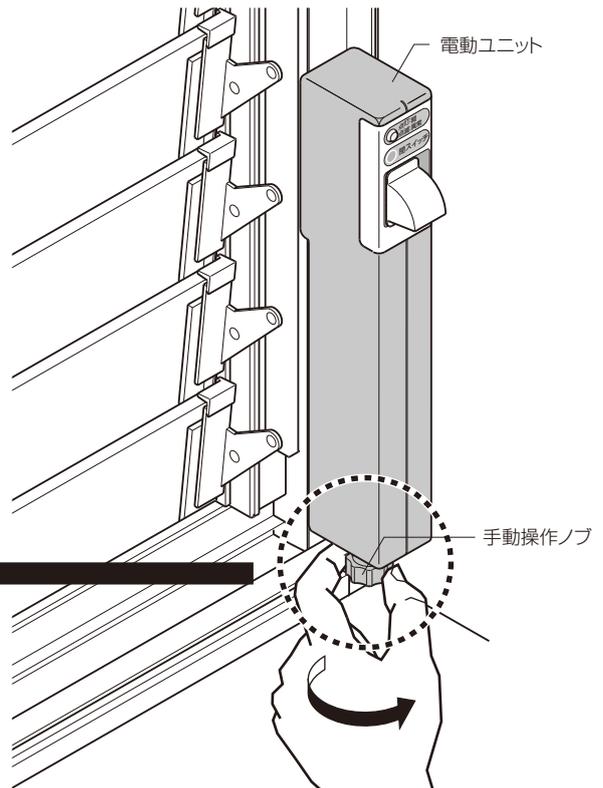
- 特殊窓以外の品種は、シャッター・天窓・日よけの取扱い説明書をご覧ください。

■障子を開けた状態で停電になった場合

【タイプ1 電動ユニットの場合】

- 手動操作ノブを矢印の方向に回して閉めてください。なお、手で操作しづらい場合は、付属工具を使用してください。(オーニングは取付工具のみの操作になります)

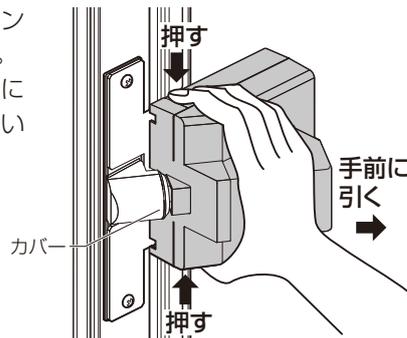
●手で操作しづらい場合



【タイプ2 電動ユニットの場合】

※安全のため、コンセントを抜いてください。

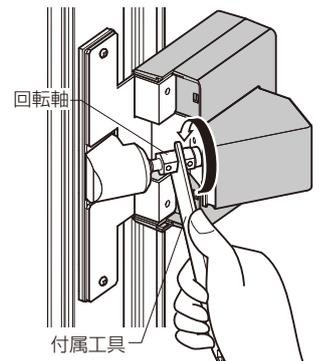
- ①カバーを矢印の方向に押しながら手前に引いて外してください。



- ②付属工具で軸を回転させます。右図の矢印の方向に回すと障子が閉まります。

※万が一、開けたい場合は、逆方向に回してください。

※取付けが逆勝手の場合は閉める方向も逆になります。



こんな時どうするの？

症状対策表

タイプ	症状	原因	対策
共通・単機能リモコン	全く動かない	●電池の向きが違っている。	●正しい向きに電池を入れ直してください。
		●電池の寿命切れ。	●新しい電池と交換してください。
		●電動ユニット・壁スイッチ受光部に太陽光や強い照明光が当たっている。	●付属されているひさしを取付けて、光を遮ってください。 ●壁スイッチ受光部への光を遮ってください。
		●品種設定チャンネルは登録したものと同じですか？	●品種・チャンネルを登録した状態にする。
	操作距離が短い	●電池の寿命が近づいています。 ●電動ユニット・壁スイッチ受光部に太陽光や強い照明光が当たっている。	●新しい電池と交換してください。 ●付属されているひさしを取付けて、光を遮ってください。 ●壁スイッチ受光部への光を遮ってください。
登録ができない	●電池の向きが違っている。	●正しい向きに電池を入れ直してください。	
	●電動ユニット・壁スイッチ受光部に太陽光や強い照明光が当たっている。	●付属されているひさしを取付けて、光を遮ってください。 ●壁スイッチ受光部への光を遮ってください。	
	●リモコンからの登録信号が届かない。	●電動ユニット・壁スイッチ受光部にリモコンを向けてください。	
電動ユニット	動かない	●停電していませんか？	●停電が終わるまでお待ちください。 ※停電時の操作方法を参照ください。(P.14参照)
		●ブレーカーが落ちていませんか？	●ブレーカーを入れてください。
		●電源プラグはコンセントに差してありますか？	●コンセントに電源プラグを差してください。
		●障害物を挟んでいませんか？	●障害物を取除いてください。
		●障子が凍結していませんか？	●凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。
		●リモコンの紛失。	●電動ユニット本体閉ボタンを押続けてください。

※特殊窓以外の品種については、本体に付属の取扱い説明書も合わせてご覧ください。

点検とお手入れ方法

※この章では「共通・単機能リモコン、電動ユニット」の操作をする場合に守るべき安全事項を説明しています。

点検

- 点検を行って、「共通・単機能リモコン、電動ユニット」に作動不良や異常がありましたら、使用を中止し、お買い求めの工務店・販売店又はLIXIL修理受付センターに修理を依頼（またはご連絡）してください。火災や故障により、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

番号	点検箇所	点検内容
1	障子取付アーム部	●作動がスムーズに行えないような傷や曲がりなどの変形はないか？
2	手動開閉	●操作手順にしたがい、手動で開閉できるか？

お手入れ方法

- 必ずやわらかい布などで拭いてください。（それ以外の方法でお手入れはしないでください）
- 清掃時など、電装部品に水がかからないようご注意ください。水がかかると故障するおそれがあります。

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、LIXILオフィシャルサイトの「**プライバシーポリシー**」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。電装系部品については製造打ち切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後2年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXILオフィシャルサイトよりご注文いただけます。
●LIXIL PARTS SHOP <https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

- 対象商品 サッシ・ドア商品
- 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)
注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。
※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。
- 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。
- 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ① 当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
 - ② お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
 - ③ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
 - ④ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ⑤ 商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
 - ⑥ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ⑦ 商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
 - ⑧ 天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
 - ⑨ 施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
 - ⑩ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
 - ⑪ 引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
 - ⑫ お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
 - ⑬ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑭ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

